

錫高野城(東茨城郡城里町錫高野字太光房他)

○立地

鶏足山から北へ伸びる山塊が桂川とその支流の川によって削られてできた先端部にある。標高 93m を中心に遺構が残っている。

○構造

遺構は本城部と東砦にそれぞれ残っている。

本城部の主郭は、逆 L 字型土塁に囲まれた所が曲輪Ⅰである。この場所を縦堀・横堀でひたすら横矢を掛けて防衛している。一方、Ⅰの北東側に曲輪Ⅱがあり、この間に道路遺構が残っている。この道路遺構は、主郭背後の二重堀切に接続していて、大手遺構と見られる。二曲輪の先端には遺構がない。しかし、1974 年航空写真(CKT7412-C 1-16)を見ると、かつては尾根続きに台地が北側に張り出していて遺構が残っていた可能性がある。一方、東砦は平場と二重堀切が残り、その背後に特段遺構はみられない。

○歴史・関連情報

歴史等は不明である。伝承もないことから錫高野(中世は、那珂西郡高野村)の「村の城」ではないかと考える。城より北東の台地上には、字城の内(ジョウノウチ)があり、大きな谷津が伸びている。これが、城域の範囲を示しているのかもしれない。城の北西には、三枝祇神社が鎮座している。この神社はかつて高野鹿島神社と呼ばれ、天正 9 年(1581) 9 月 23 日に佐竹義久・田代綱久が大旦那になって棟札を奉納していたことが確認できる。伝承によると、坂上田村麻呂が下野国の悪路王を討伐するのに、祈願したといわれている。貞治 2 年には佐竹氏と茂木氏が合戦をしたという記録も残っている。高久の鹿島神社には、町指定文化財の悪路王の首がある。錫高野村から北西に向かうと下野国東茂木保櫓山村に接続することから、那珂川を使用しなくても常陸へ接続するルートの一つとして重視され、その結果城郭遺構が築かれたのかもしれない。(五十嵐)

【参考文献】 「水府志料 12」国立国会図書館デジタルコレクション

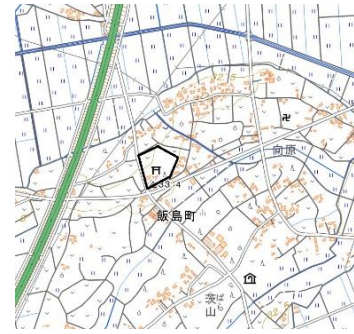


錫高野城縄張図 調査 2023 年 12 月 18 日
青木義一・五十嵐雄大・岡本博志
作成者：青木義一

飯島城 (水戸市飯島町塚前 734)

○立地

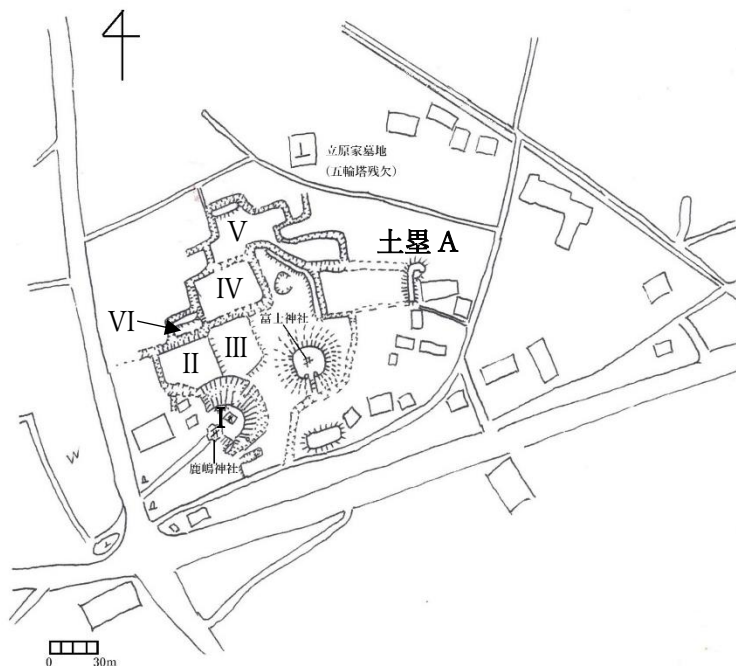
桜川右岸の標高 35m の台地上にある。南北を塩街道という下野と鹿島を結ぶ古道が通り、東西は河和田城・赤尾関城・鯉渕城など江戸氏に関連する城館を結ぶ道に面している。遺跡自体は、飯島町古墳群の包蔵地にもなっていて、複合遺跡である。



○構造

曲輪 I は鹿島神社の本殿が鎮座している場所であり、西側は参道となって煙滅している。それ以外は幅最大 6 m の堀跡が明確に残存している。

曲輪 I から北側・東側にかけて遺構が見られ、確認できるだけで 6 の曲輪がある。空堀が曲輪すべてめぐるようになっていて、堀底道を兼ねていたと思われる。一番東端に高さ 3m の土塁 A が残る。ここが城端を示しているのかもしれない。



○歴史・関連情報

明徳 2 年(1391)極月二日の熊野参詣願文に那珂西郡の飯嶋七郎光忠・子息七郎三郎光忠が確認される。このことから南北朝から室町時代には飯嶋氏の館が先行してあったと思われる。今残る姿は、戦国時代に江戸氏の改修を受けた姿と考える。城主は悉知氏(七字氏)ともいわれているが、定かではない。現在城の北東にある立原家墓地には、五輪塔の一部がある。(五十嵐)

【参考文献】

水戸市史編さん委員会『水戸市史上巻』1963

松田要害城(桜川市松田)

○立地

筑波山から北へ伸びる山塊が、桜川の支流によって削られてできた台地先端部にある。標高 229m を中心とする一帯に遺構が見られる。

○構造

遺構は、麓部分と山城部分に分けられる。

麓部分は、標高 120m 付近に二重堀切・帯曲輪・武者走りなどの遺構が見られる。城内の A に五輪塔と宝篋印塔の残欠が残っている。

山城部分は南北 8 m 東西 20m の平場を取り囲むように逆さコの字型の土壇がある。南には幅 7 m 深さ 6 m の大堀切が見られ、この城最大の見所である。

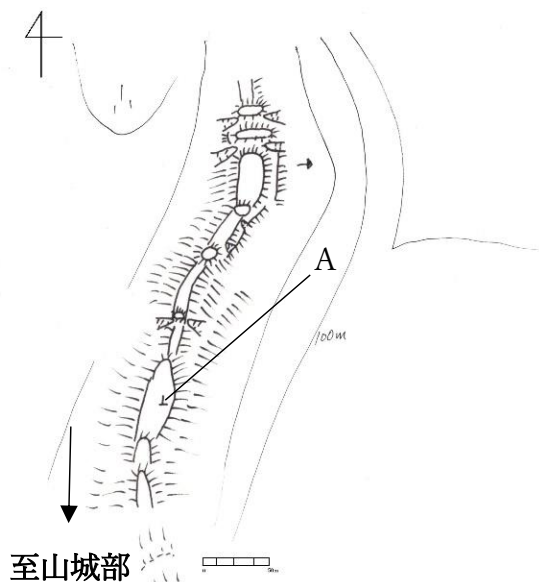
広範囲に遺構が残るものの所々に普請が甘く陣城のような印象を持つ。一方、松田から城内を通して雨引観音へ抜ける古道が通っていることから、関所城の可能性がある。

○歴史・関連事項

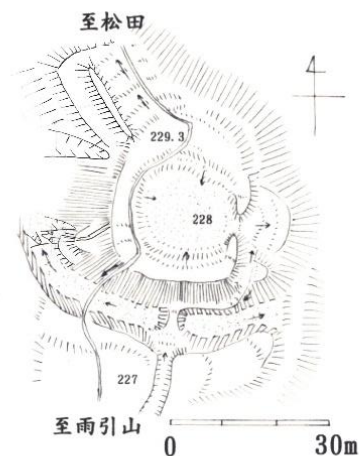
松田は小田氏の領地で、永禄年間に結城氏家臣の水谷正村が攻めたとされる。その際、小田氏は一族の茂木氏に援軍を頼んだ。茂木氏は松田に駐屯し水谷軍を迎撃した。このことから、攻め手側の水谷氏の陣城もしくは迎撃側の茂木氏の陣城の可能性がある。(五十嵐)

【参考文献】

茂木文書研究会編『茂木文書の世界』図録 茂木町まちなか文化交流館ふみの森もてぎ 2019



松田要害城麓部分
調査作成 2024 年 1 月 23 日
五十嵐雄大



松田要害城山城部
原図：青木義一を基に
五十嵐加筆

※本原稿の内容を転載及び図面変更を行って掲載した場合には、必ずその旨を明記すること。